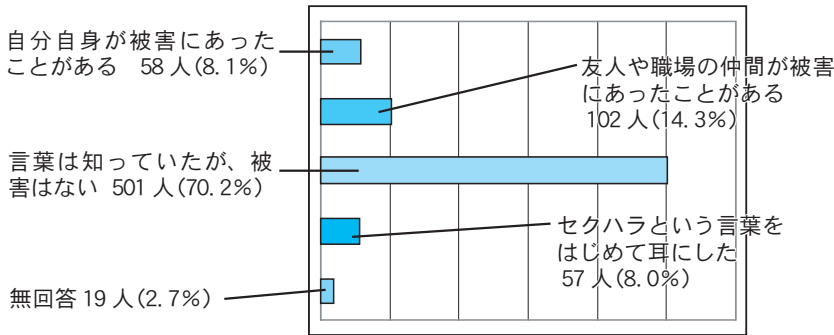


#### 4 性や性暴力について

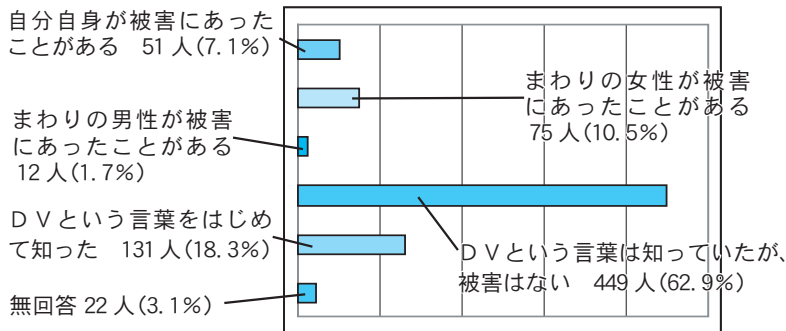
セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスという言葉を知っているか、また、それらの被害にあったことがあるか、被害にあった時、どのような対応をしたかなどについてお聞きしました。

セクシャル・ハラスメントの被害についてお聞きしたところ、「自分自身が被害にあった

#### ⑥【セクシャル・ハラスメント被害について】



#### ⑦【ドメスティック・バイオレンス(DV)被害について】



※ドメスティック・バイオレンスの被害に関するお悩みは、市の福祉事務所(母子自立支援員)、人権相談(毎月第2木曜日各支所単位で開催)でご相談ください。また、お近くの保健師にもお気軽にご相談ください。

複数回答のため、割合は、回答者実数を分母として算出している。

ことがある」「友人や職場の仲間が被害にあったことがある」と回答している人を合わせると160人(22.4%)ありました。(⑥)また、ドメスティック・バイオレンス(DV)の被害についてお聞きしたところ、「自分自身が被害にあったところがある」「まわりの人が被害にあったところがある」と回答している人を合わせると138人(19.3%)ありました。(⑦)

#### 5 男女共同参画に関する教育や施策について

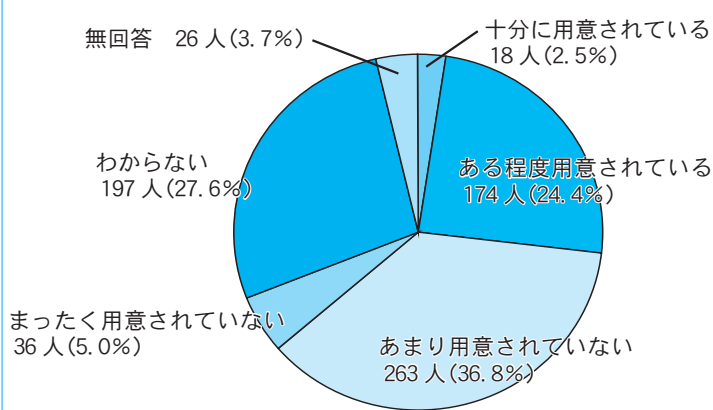
男女共同参画に関する言葉の認知度、女性が地域活動や市政へ参画する機会の有無などについてお聞きしました。

女性問題や男女共同参画について、何らかの形で学んだり、教えられたことがある人は240人(36.6%)、ない人は458人(64.1%)でした。

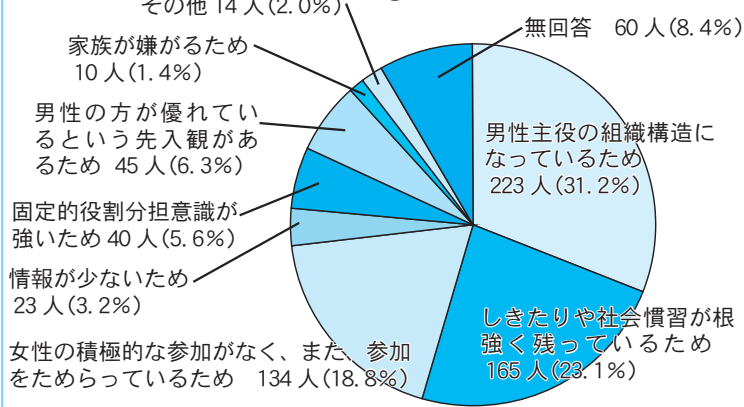
次に、地域活動や市政について、企画づくりや方針決定の場に女性が参加する機会が

#### 【女性が参加する機会があるかどうか】

#### ⑧機会があるかについて



#### ⑨理由



あるかどうか、また、そういった場に女性の進出が少ないうち理由は何が考えられるかについてお聞きしたところ、参加する機会については、「あまり用意されていない」が36.8%と最も多く、「まったく用意されていない」と合わせると41.8%の人が、地域活動や市政について、企画づくりや方針決定の場に女性が参加する機会がないと思っています。(⑧)また、そういった場に女性の進出が少ない理由としては、「男性主役の組織構造になっているため」が

22.3人(31.2%)と最も多く、次いで「しきたりや社会慣習が強く残っているため」が165人(23.1%)となっており、「男性の方が優れているという先入観があるため」「固定的役割分担意識が強い」と合わせて、これまでの男性社会中心の考え方のために女性の進出が少ないと考えている人が66.2%ありました。しかし、「女性の積極的な参加がなく、また、参加をためらっているため」も18.1%ありました。(⑨)